

市議会
3月定例会

平成3年度当初予算案など
63議案を可決

市議会三月定例会が、三月四日から二十日までの十七日間にあたって開かれました。今定例会には平成二年度一般会計等補正予算案、平成三年度の一般・特別・企業会計予算案や大館市水道給水条例の一部を改正する条例案など六十三議案が提出され、慎重な審議の結果、全議案が原案通り可決されました。

3年度一般会計予算

175億9千万円

今定例会では、一般会計、特別会計、企業会計の平成二年度補正予算案及び平成三年度当初予算案が可決されました。平成三年度当初予算については、三年度を四年度と改定されています。

2年度

一般会計補正予算

平成二年度の一般会計予算は、今定例会で歳入・歳出にそれぞれ九億四千五百三万円が追加補正され、最終予算総額は百九十五億九千四百十五万円となりました。歳入の追加で主なものは、地方交付税七億二千七百三十二万円、市税三億九千二百三十四万円(うち市民税三億六千九百九十九万円)、財産収入一億七千五百一十一万円です。

歳出の追加で主なものは、教育費四億四千五百七十一

万円、衛生費二億四千三百二十万円、総務費一億二千六百万円です。

水道給水条例を

一部改正

水道給水条例の一部を改正する条例案が可決され、設計などにかかる手数料が平成三年四月一日から改正されます。

これは、手数料事務の簡素化を図るとともに手数料の一部に消費税が課税されるために行われるものです。

改正内容

- ・設計手数料：今までどおりの手数料(工事の設計額に、5%以内で管理者が定める割合を乗じた額)に、消費税(3%)を加算した金額
- ・設計検査手数料：今までの検査手数料(検査材料の標準価格の5%以内)と設計審査手数料(工事の設計額の2%以内)を一本化し、工事の設計額に、三・五%以内で管理者が定める割合を乗じた金額

・開栓手数料：開栓、給水装置の呼び口径別手数料を廃止し、開栓一回につき五百円とし、それに消費税(3%)を加算した金額
※消費税は一円未満切り捨てです。

米の輸入自由化

反対を決議

今定例会に「米輸入自由化反対に関する決議案」が提出され、可決されました。決議文は次のとおりです。

「今、米輸入自由化問題は重大な局面を迎えている。

米は日本の歴史と文化を培い、国民の主食として現在はもちろん将来にわたってもその重要性に変わりはない。また、国土や自然の保全など大きな社会的役割も担っており、地域経済への影響や国民の食糧、健康からいっても自給政策の確立こそ国民の願いとなっている。

よって本市議会は、ここに米輸入自由化反対を表明するものである。」

市長メモ



No.50

主役の主張

統一地方選、知事・県議選は四月七日、市長・市議選は二十一日がそれぞれ投票日です。

当然のことながら主権在民です。市民一人ひとりの良識が結果を生むこととなります。

ところで、この統一地方選で問われる特長は何でしょうか。

私は、一つには湾岸戦争で経験したように「平和」は日常生活の中にこそあるということだと思えます。もう一つには日本構造協議の中心に据えられている「生産政策」中心から、「生活者政策」中心への転換、その地域版政策ではないかと思えます。

生活者中心の地域政策とは、いったい何でしょうか。少なくとも言えることは、ハードよりもソフトを中心にしたもの。言い換えると、大館市民の「心」と「良き伝統と文化」を重んじることだと思えます。

だれにも支配される必要はありません。選挙を通じて堂々と自己主張しましょう。

あしな

